

事務事業評価シート

(H.29)No.	1086	(H.28)No.	1086
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ごみゼロ・リサイクル推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	環境対策室	海野 隆広	

会計区分	事業コード	271501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	
項 清掃費	(小事業名)	
目 ごみ対策費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	2 環境負荷の少ない社会の創造
	施 策	2 循環型社会
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
環境と共生する資源循環型社会を目指し、ごみの発生抑制、減量化、資源化の促進に向けた啓発等を実施することにより、ごみゼロ社会を構築します。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づくごみの分別、減量化に向けた啓発の実施 ・ごみ分別ガイドブックの作成や外国人向け日程表の作成 ・紙おむつ専用ごみ袋の購入 ・不法投棄物等回収袋ごみ袋の作成、配布 ・草木類のリサイクル事業の委託

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語ごみ収集日程表翻訳 200千円 ・資源分別看板購入 480千円 ・紙おむつ専用ごみ袋購入(20ℓ 275,000枚) 6,050千円 ・ごみゼロアクションプログラム見直し会議出席報償 34千円 ・3Rポスター応募報償 14千円 ・ガイドブック印刷 265千円 ・容プラチラシ印刷 193千円 ・草木類資源化委託(シルバー人材センター委託) 3,080千円 ・せん定枝粉碎処理車修繕 329千円(28年度実績 95件) ・せん定枝粉碎機購入 32千円(28年度貸出件数 67件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別啓発 ・外国語版日程表翻訳 ・不法投棄物等回収袋作成 ・資源化推進委託 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別啓発 ・外国語版日程表翻訳 ・不法投棄物等回収袋作成 ・資源化推進委託 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別啓発 ・外国語版日程表翻訳 ・不法投棄物等回収袋作成 ・資源化推進委託 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別啓発 ・外国語版日程表翻訳 ・不法投棄物等回収袋作成 ・資源化推進委託 など

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		11,212千円		11,321千円	11,321千円	11,321千円	11,321千円
内訳(千円)	国・県支出金			223			
	地方債						
	その他(基金繰入金等)		2,107		150		
	一般財源	0	9,105	0	10,948	11,321	11,321
人工数	職員		1.49人		1.39人	1.39人	1.39人
	臨時職員等		0.15人		0.18人	0.18人	0.18人
②概算人件費	0千円	11,430千円	0千円	10,731千円	10,731千円	10,731千円	10,731千円
①+②総事業費	0千円	22,642千円	0千円	22,052千円	22,052千円	22,052千円	22,052千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
ごみゼロアクションプログラムの改定とともに、本プログラムの行動計画の一つである3Rの推進及び適正な分別排出の啓発策として、分別ガイドブックの作成、配布を行いました。また、容器包装プラスチックの分別啓発の強化策として、分別チラシを全戸配布分作成しました。ごみの減量・資源化に成果を上げるとともに、学校、地域等に出向いて環境学習会等によるごみ減量化、資源化の啓発を行っています。地域づくり組織、学校、市民活動団体とごみや環境の対策について連携を図っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
家庭系ごみ排出量は、県内で最小レベルですが、引き続き3Rを推進し、ごみ減量の啓発を行います。また、草木類リサイクル事業を継続して進めます。紙おむつ専用袋は、家庭ごみ有料化に伴う減免措置として導入しましたが、現在では介護支援、子育て支援対策に貢献しています。	ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム、第三次なばり快適環境プラン